



町議会だより Nagayo Town Assembly Newsletter

みんなのギカイ

no. 173

令和2年4月15日発行 長崎県長与町議会



骨格予算を審査.....	2~3
高田南 一括施工開始.....	5
11人が問う 一般質問	11



春の列車は夢を乗せて

骨格予算を審査

前年度比 4.6%の増額

可決
賛成12:反対2

予算 133億7516万円



拡幅予定の高田踏切

令和2年第1回定例会を3月3日から17日まで開きました。一般会計予算をはじめとする、土地区画整理事業特別会計予算や国民健康保険特別会計予算など、31の議案を慎重に審査し、いずれも可決しました。

高田踏切を拡幅

問 都市計画道路西高田線のJR踏切工事の現在の状況と予算化はされているか。

答 元年度に設計を契約し、2年度は工事を進める。予算は、事業費5000万円計上し、うち1500万円が踏切工事となる。

長与川の氾濫を警戒

問 長与川の水位情報周知河川指定に伴う「洪水ハザードマップ」の作成スケジュールと内容は。

答 2年3月に県から指定を受け、1年間かけて作成する。避難場所や避難ルートも分かるようにしたい。

風疹ワクチン

問 2年度の風疹抗体検査の対象者（昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性）はどれくらいか。クーポンの発送時期は。

答 2694人が対象。5月上旬までに送付できるよう準備している。

草払い・剪定増額

問 街路や公園の剪定委託料が増額されている要因は何か。

答 自治会からの要望も多く、対応するためにシルバー人材センターへの委託料を増額した。

資源の売却額減額

問 拠点回収した資源化物の売却収入の減額要因は。

答 紙類は、平成31年度前期までは例年通りの金額で入札できていたが、働き方改革の中で、リサイクル業者の日曜日の業務が難しく、入札辞退で激減した。2年度も厳しい状況のため減額した。

授業の質向上

問 小中学校のデジタル教科書とはどのようなものか。

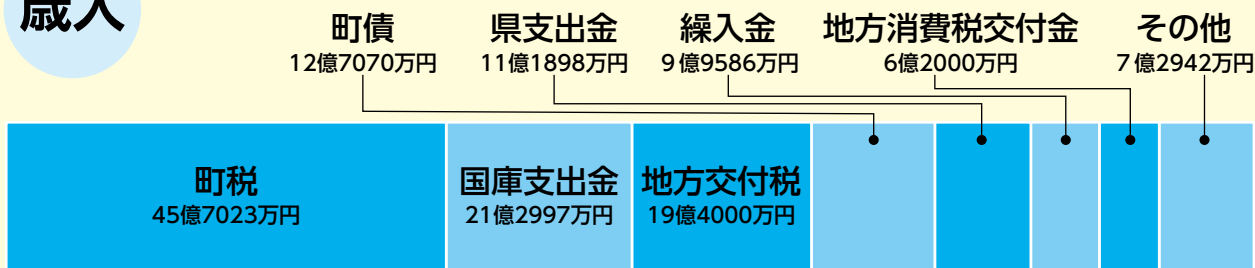
答 電子黒板等に教科書内容を投影する、教員用の教材。教科書の写真が動くなど、子どもの興味・関心を引くと同時に、理解を深める効果も期待できる。



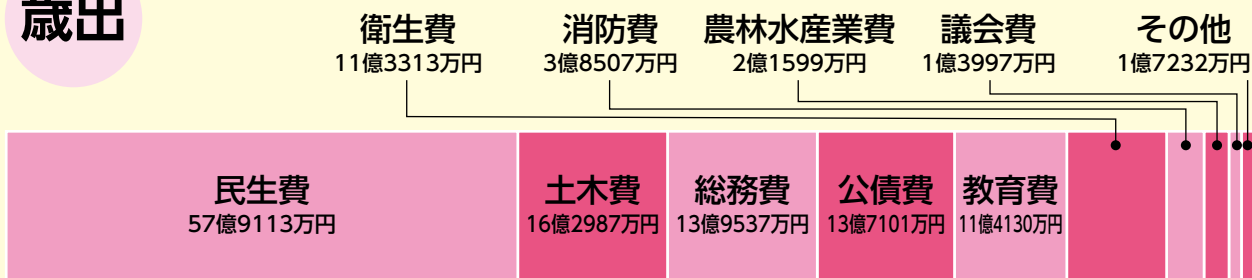
町長選を控え

2年度 長与町一般会計

歳入



歳出



答

23年間使用しており、修理も難しいため、現状と同じ規模の音響設備をすべて入れ替える。

問

町民文化ホールの音響機器設備の取替内容は。

老朽機器の更新



建て替え予定のあやめ幼稚園（嬉里郷）

答

認定こども園となり、受け入れる子どもの年齢が広がる。また、耐震化を図るため建て替える。開園は3年4月予定。

問

保育所等整備交付金が交付されるあやめ幼稚園の改修事業の内容と完成予定は。

待機児童解消へ

反対討論

大型公共事業が負担

工場等設置奨励金の対象事業は、条例の小売業に該当し奨励金を交付しているが、事業所の営業小売業の事業面積はわずかで、奨励金条例に該当しないとされる。また、高田南土地区画整理事業の一括発注は、さらに財政負担が懸念される。大型公共事業への負担に重きを置く予算案には賛成できない。（河野）

賛成討論

本町の優位性を強化

福祉と教育に重きをおいている本町の特色と優位性を維持・強化する予算となっている。会計年度任用職員制度により人件費が増加するが、それを理由にした非正規職員の削減などを行っていないことも評価できる。新図書館関連予算がないが、6月の肉付け予算に期待する。（八木）

可決
賛成12:反対2

歯周病予防健診など拡充

2年度国民健康保険特別会計予算
39億6709万円

2年度は被保険者を7785人と見込み、事業を実施します。今回から眼底検診を健康診査の数値による該当者に、歯周病検査を30歳到達者と妊婦に、対象をそれぞれ拡大します。

反対討論

保険税負担は限界

国保には経済的弱者が多く加入しているが、保険税負担は限界を超えている。負担軽減のための改善が必要。
(堤)

賛成討論

必要予算である

激変緩和措置が講じられている。特定健診受診率向上の努力、健康ポイント事業の拡大など
(竹中)



可決
賛成12:反対2

前年度比4.2%の増加

2年度後期高齢者医療特別会計予算
5億3726万円

問 元年度と2年度の被保険者数の見込みはそれぞれ何人か。

答 元年度が5039人、2年度が5163人で、124人増加する見込みである。

問 後期高齢者の増加ピークの推測はどうなっているか。

答 県が推計したピークは令和17年になっている。それまでは増え続けると推測する。

反対討論

高齢者に失礼

75歳で従来の医療制度から切り離し、負担増と囲い込みの仕組みであり人道的に問題。戦後の荒廃から復興を成し遂げ今日の郷土を築き上げた高齢者に失礼な制度である。
(堤)

賛成討論

高齢者に必要

社会全体で高齢者を支えるために作られた制度である。健康寿命の延伸のため各種事業に取り組んでいる。多様な疾患を持ちながら生活する高齢者の健康を守るために重要な予算である。
(吉岡)

全会一致可決

認定者数2197人で予算化

2年度介護保険特別会計予算

■保険事業勘定 33億1820万円
(主に要支援・要介護認定を受けた人が利用するサービス事業者や住民活動に関する会計)

■介護サービス事業勘定 2752万円
(主に町直営の包括支援センターが行う事業に関する会計)

1号被保険者(65歳以上) 1万1283人
認定者数 2197人
認定率 19.5%

問 介護予防事業にはどのようなものがあるか。

答 めだか85、脳トレ教室、サポーターポイント制度がある。

問 ※認知症カフェはどのくらい開催しているか。

答 月に2回の定期分は社会福祉協議会へ委託。その他不定期で地域を回り実施している。

*認知症カフェ

認知症の方やその家族、地域の方、専門職など、誰でも参加でき、くつろいだ雰囲気の中で話や相談ができる交流の場

可決
賛成12:反対2

高田南区画整理 一括施工開始

2年度土地区画整理事業特別会計予算

12億8668万円

前年度は5億1037万円

問 一般会計繰入金の約9億円は昨年の倍になり、かなりの負担になる。これが5年間続くのか。

答 今後5年間、若干金額の変動はあるが、この程度の金額で推移していくものと考えている。

問 国庫補助金が約3億1千万円計上されているが、来年度以降6年度までこの程度の金額が入るのか。

答 3年度以降も3億円強の金額、最終的には国庫補助金の全額を要求していききたい。

反対討論

国庫補助金の確保への懸念

全国的な災害の頻発や景気悪化に伴う税収悪化による国庫補助金の減額がある、町の他の施策の財源を圧迫することになると懸念する。
(堤)

賛成討論

よつやく工事終了のめどが立つ

一括施工への変更により事業の期間が2年度から6年度までの5年間となる。事業の早期完了を願う賛成する。
(松林)

全会一致 可決

1市2町での共同浄水場調査へ予算計上

2年度水道事業会計予算

水道会計予算

収益的収入	7億8,767万円
収益的支出	7億6,028万円
資本的収入	1億5,345万円
資本的支出	3億6,755万円
給水戸数	15,839戸
年間配水量	3,604,327m ³
1日平均配水量	9,875m ³

問 平木場地区の水道施設改良等が予定されているが、何か。

答 当該ポンプ施設が土砂災害特別区域に入っており、耐震化を図るものである。

問 長崎市、時津町との広域連携による共同浄水場整備の調査委託料が計上されているが、どういう考え方で進むのか。

答 2年度、3者間協定を締結し、協議を進めていく。あくまでも長与町が不利益を受けないか、水を作る負担や条件についても詰めて判断していきたい。

全会一致 可決

浄化センターの高度処理化3年度まで進行中

2年度下水道事業会計予算

下水道会計予算

収益的収入	9億8,988万円
収益的支出	9億5,633万円
資本的収入	3億663万円
資本的支出	5億9,362万円
水洗化戸数	15,850戸
年間排水量	3,837,000m ³
1日平均処理水量	10,512m ³

問 *高度処理に係る費用はいくらか。

答 7億4千万円を予定している。

問 大村湾沿岸の処理場で高度処理が済んでいる自治体はどこか。

答 波佐見町と諫早市の一部の処理場が済み、本町と大村市が現在着手している。

*高度処理
主に窒素やリンを取り除くための処理方法

用語解説

収益的収支…主に維持管理の関係 収入＝使用料、負担金 支出＝維持管理費、人件費
資本的収支…主に設備投資の関係 収入＝補助金、借入金 支出＝事業費、償還金

国が進める最新ICT教育事業費の新規計上

8881万円を減額 補正後総額129億9168万円

元年度一般会計補正予算（第4号）



端末1人1台が令和時代のスタンダード
(出典：文部科学省ホームページ)

答 この事業に対する国からの補助金が元年度に予算計上されたため。

問 全額が※繰越明許費となっているが、なぜ元年度に予算計上したのか。

学習用PCを1人に1台など、1人も取り残すことなく個別最適化されたICT教育を目指すという文部科学省の「GIGAスクール構想」のための通信環境整備費用。

1億
3294万円
新規

全小中学校の
情報通信ネット
ワーク環境施設
整備事業費

年度末である3月の補正予算には、新たに必要となった事業の分の増額や施策の変更などでの減額のほか、国・県に申請したものの不交付となった補助金や使わなかった基金の繰り戻し分など、年度中の減額がまとめて盛り込まれます。

平成30年度は2億円近い寄附（ふるさと納税）がありました。元年度6月の法改正により返礼品が町内の地産品・サービスに限定されたことで品目が減り、元年度当初予算の1億円から大幅減に。

4588万円
減額

ふるさと長与
応援寄附金

答 今後の高齢化率の上昇や地域の要望に応じ、再度の試験も含めた持続可能な運行内容の検討を行っていく。

問 交通網の充実が町の重要政策の一つだと思いが、今後の取組は。

交通の便が特に不便な町内2地区で平成30年度に始められた試験運行。定時運行から予約制にするなど途中で改善も行いましたが、利用者の少なさを「コスト面から元年度で中止に」。

50万円
減額

乗合タクシー
運行委託料



本誌171号でお伝えした道ノ尾中央公園（仮）の工事も、2年3月13日に竣工予定でしたが隣接する道路壁面工事の遅れの影響で夏ごろまで工期が延び6353万円が繰越明許費となりました。

※繰越明許費（くりこしめいきよひ）
何らかの理由で年度内に完了できなかった事業のための財源を翌年度に限り繰り越して使用できるようにするもの。

答 町内の限られた店舗でしか使えないのが残念という声があった。購入ではなくもらえると思っていた人もいた。

問 購入者が少なかった理由は。

3歳未満児のいる世帯と住民税非課税者が、25%のプレミアム付の地域商品券を2万5千円分まで購入できる国の消費支援政策。

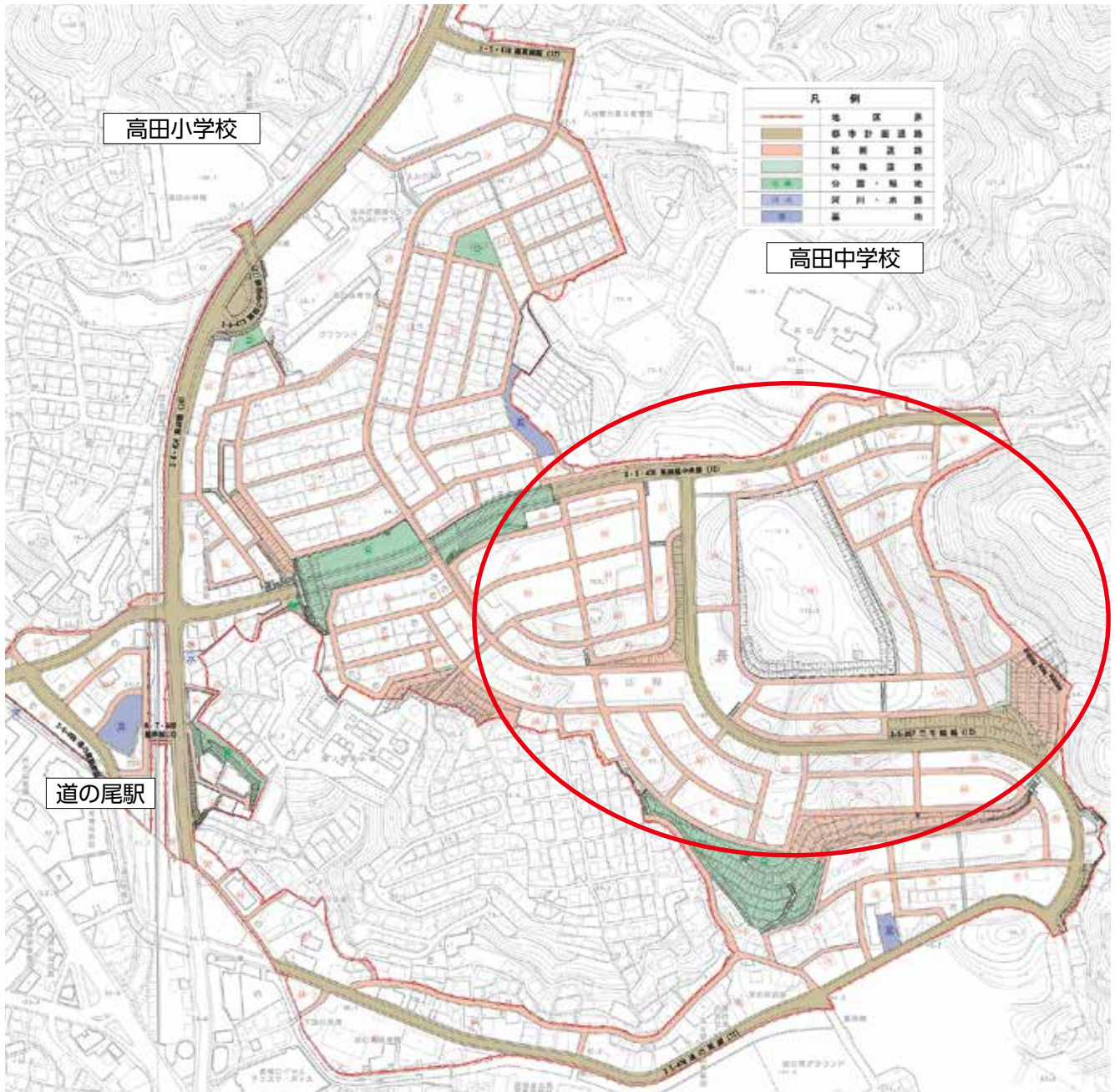
2650万円
減額

プレミアム付
商品券事業費
補助金

全会一致
可決

姿が見えてきた高田南

町道路線の認定



今回新たに町道認定を行う区域（高田南土地区画整理事業地内）

答

変更はあるかもしれないが、大きな変更は考えていない。

問

施工前に認定して、工事の段階で変更が必要となった場合はどうするのか。

答

高田南の一括施工に係る国費補助に、町道の認定が必要となったためである。

問

これから整備される道路を、なぜ今認定する必要があるのか。

高田南土地区画整理事業の一括施工に伴い、整備を行う区域内の55路線について町道認定しました。

全会一致
可決

みんなで被害者を支えるために

犯罪被害者等の支援に関する条例

平成17年に施行された犯罪被害者等基本法で、犯罪被害者の支援に関する国や地方公共団体の責務が定義され、昨年7月には県でも条例整備が行われたことに伴い、本町でも総合的な支援を推進していくための必要な事項について定めました。

条例の要旨

- 町は支援を総合的に行うために窓口の設置を行います。
- 町は犯罪被害者の安全確保、二次被害防止等への支援を行います。
- 町は見舞金の支給を行います。
- 町は町営住宅の提供などの支援を行います。



犯罪被害者等支援シンボルマーク
「ギョットちゃん」

問 被害者情報はどこから得るのか。

答 警察から個別に寄せられる。

問 町の支援はどのように行われるのか。

答 地域安全課が窓口になり、関係機関と連携して対応する。

問 見舞金は交通事故の被害でも対象になるのか。

答 窓口として相談は受けるが、交通事故には自動車保険等があることから、今条例での見舞金の対象とはしない。

問 見舞金の金額の根拠は何か。

答 全国的な金額に合わせた。

問 全国では被害者へ無利子の貸し付けを行う自治体もあるようだが、本町の対応は。

答 県の考えが示され、それに基づき見舞金支給のみの制度とした。

全会一致
可決

自治会などの利便性向上

認可地縁団体印鑑条例

認可地縁団体の印鑑登録証明書の発行が求められることから、認可地縁団体印鑑登録事務の実施に関する必要な事項を定めました。

問 認可地縁団体の認可とはどういうものか。

答 自治会やコミュニティなど地縁による組織が、認可地縁団体として認可を受けることにより、法人格を得て、団体名義による不動産登記等ができるようになる。

問 今回の自治会が認可地縁団体になった経緯は何か。

答 当該自治会の集会所の大規模改修について、コミュニティ助成事業による補助制度を受けるにあたり、認可地縁団体となって申請することが要件となっているため、本町で初めて認可地縁団体の申請を行ったものである。

全会一致
可決

乳幼児も児童館を
利用可能に

児童館条例の改正

問

実情の利用状況に則する改正とはどのようなことか。

答

開館当初は授乳室やおむつ替えのスペースがなく、乳幼児の利用ができなかった。全ての児童館で対応可能となったため、0歳以上3歳未満についても利用できるよう、条文を整備した。



高田児童館

全会一致
可決

支援拡充のための
研修要件を変更

放課後児童クラブの条例の改正

問

改正の内容と、支援員の研修計画はどのようなものか。

答

放課後児童支援員の資格要件である研修の条件が緩和され、本町ではあと2年程度で全員が受講できる。長崎県では年に1度、3カ所で行われ、4回の研修を連続して受講し、レポート提出で認定される。



防災教室を受けている児童クラブの子どもたち

全会一致
可決

0～2歳児の待機児童解消へ

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正

問

小規模保育事業A型の定義はどのようなものか。

答

保育者の居宅やその他の施設における、認可定員が6人から19人の小規模の保育事業。職員は配置基準は保育所の配置基準プラス1人で資格は保育士。保育室の面積が0～1歳児で1人当たり3・3平方メートル、2歳児で1・98平方メートルが基準となる。

問

家庭内保育事業を行っているところはあるのか。

答

本町にはない。県内には小規模保育事業所が32カ所、事業所内保育事業所が6カ所で合計38カ所ある。



人事案件

人権擁護委員の推薦

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うための議案が提出され、全会一致で適任としました。

木島 和美氏（嬉里郷）

柏田 正氏（高田郷）

江島 英典氏（嬉里郷）

新型コロナウイルス対策のため 傍聴を自粛いただきました

令和2年第1回定例会は、新型コロナウイルス感染症を防ぐため、傍聴を自粛いただきました。
また、感染のリスクを少しでも低減するため、定例会の期間を当初の予定よりも短縮いたしました。
やむを得ず直前の周知となりましたが、ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

令和2年第1回定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	八木亮三	松林敏	西田健	浦川圭一	中村美穂	安部都	内村博法	安藤克彦	金子恵	岩永政則	堤理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	西岡克之	山口憲一郎		
執行機関	長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	長与町認可地縁団体印鑑条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町犯罪被害者等の支援に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町交通安全の保持に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町立児童館条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町営住宅の設置、整備及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和元年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和2年度長与町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	※
	令和2年度長与町駐車場事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	令和2年度長与町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	※
	令和2年度長与町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	※
	令和2年度長与町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
令和2年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	※	
令和2年度長与町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
令和2年度長与町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
人権擁護委員の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
議会	長与町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席 ※議長は採決に加わらないため「※」で表示

■ 棄権とは、議員自らの意思により表決に参加しないこと。

◆ 除斥とは、議員は直接の利害関係のある事件について、その議事に参与することができないこと。（地方自治法第117条）

11人が問う

一般質問	質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。
一般質問の記事	質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。
会議録の閲覧	会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町議会ホームページで閲覧できます。
会議の中継・配信	本会議の様様を、YouTubeでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

12	浦川圭一議員	① 議会の使命を達成するための行政の対応について ② マイナンバーカード普及における町のメリットについて
13	吉岡清彦議員	① 名君へ向かっての心意気について ② 危険な場所の対策について ③ 猪の出没対策について
14	西田健議員	① 町の公園の在り方について ② 町の道路状況について
15	西岡克之議員	① 本町の虐待問題について ② 本町の教育問題について
16	松林敏議員	① 中尾城公園について ② 消防団活動について
17	堤理志議員	① 近隣自治体との連携の現状について ② 生活道路(平木場郷)の改善について
18	内村博法議員	① 学校給食に関する課題について ② 本町の公共工事及び物品発注等について
19	安部都議員	① 空き家「特定空家等」・空き地の対策について
20	中村美穂議員	① 子どもを産み育てやすい環境整備の充実について
21	安藤克彦議員	① 地域公共交通網改善計画について ② 中尾城公園のスパイラルスライダーについて
22	河野龍二議員	① 高田南土地区画整理事業について ② 国民健康保険税の負担軽減について



質疑に対する疑問に反問の行使を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 より良い議論ができると思う

■ **議員** 議員については法的にも何ら調査権が認められていない、という前提で議員活動を行ってきた中で、調査する場合はまず情報公開の手続きにより資料を求めている。簡易なものについては、所管の窓口で回答するなどの対応ができないか。

■ **総務課長** まずは所管の窓口に向いてもらえば、内容に応じてその後の手続きの判断をする。

■ **議員** 議会図書室の整備については議会および議会事務局で検討願う。とのことだが、議会には予算の提案権も執行権も認められていない中で、どうすればよいのか。

■ **企画財政部理事** 予算については、議会事務局もしくは契約管財課へ要求してもらい、執行については、契約管財課で行う。

■ **議員** 議員の質疑・質問に対する^{*}反問権が認められているが、行使されることなく答弁が行われている。その要因をどう考えるか。

■ **町長** いずれにおいても丁寧な趣旨説明があり、かつ論点が明確であるため、行使することが無かったと考える。

■ **議員** 私の経験でも答弁と質問の趣旨が合わないような場合で、反問してもらえば、論点が明確になり議論が深まったのではないかと思ったことがある。反問権が認められていない議会が多くある中で、本町では厳しい制限もなく認めている。より良い正しい議論を行う上でも、質疑の中に疑問などがあれば反問の行使を求めたいがどうか。

■ **総務部長** 答弁する側としてもそのようにさせてもらえば、より良い議論ができると思う。

問 カード普及で行政事務の効率化は

答 現状では効率化は図れていない

■ **議員** ^{*}マイナンバーカードの普及による町のメリット

■ **町長** 役場などでの業務の簡素化・効率化の向上が図れると考えている。

■ **議員** カードを作る側の住民が受ける利点・メリットについては多く説明しているが、それを判断して便利であると思う人は作ると思う。その結果が現状交付率15%と考える。行政事務にとってさほどメリットがなければ、職員の負担や新たな財政負担をかけてまで普及に取り組む必要はないと考える。広報などがよほど周知をして、住民課の窓口で希望する人の申請に対応すればよいと思う。マイナンバーを必要とする行政手続きでカードと紙ベースの通知カードで申請した場合どれくらい効率が上が

総務省ホームページより

■ **住民福祉部理事** 現状では、行政事務において、効率化は図れていない。

■ **反問権** 質問者に対して問い返すことができる権利。地方議会において、市長や町長などに付与された権利。
^{*}マイナンバーカード(個人番号)を含む個人情報記載された、市区町村が交付する身分証明書。



町民の幸せ一番に 向けて姿勢は



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 さらなる情熱と誠意で取り組む

■ 議員 名君へ向かっていく時期となってきたが「町民の幸せ一番に・・・」と町長の姿勢に町民がエールを送っているが、どのような気持ちで捉えているか。

■ 町長 町民より温かいエールを送ってもらっていることは、本当にありがたい。これからも、さらなる情熱と誠意をもって施策に取り組んでいく。

■ 議員 初当選時の課題は産業の活性化、今後の抱負は「民意はどこにあり、何を求めているかを常に頭に入れていく」と答えているが、どのような成果が出ているか。

■ 町長 産業の活性化としては、本町の特産品である柑橘への品質向上対策や、優良

新生長与の 息吹あり
ふるさと創成 旗のもと
子育て 教育 健康と
町民の幸せ 一番に
主要施策は 進められ
体育 文化も 花盛り

町制50周年式典で披露された相撲甚句の一節

苗木への更新などへの支援事業、6次産業化の推進などを行ってきた。また、商工関係としては小規模事業者の経営支援やチャレンジショップを開設し、商店街の活性化に努めてきた。住民の意見を聞く機会としてほっとミーティングやまちづくり提案箱などで多くの住民から意見をもらっている。

■ 議員 今後の大きな課題についての取り組みはどうか。

■ 町長 高田南土地区画整理事業においては、県による一括施工の入札も終了し、事業の道筋が見えてきた。西高田線においては、用地が確保できた区間から順次工事着手している。防災拠点のあり方については、役場を町の拠点と位置づけ、平常時と災害時の2つの観点から整備を進めている。新図書館の整備については、大型事業の推進計画を踏まえ、事業スケジュールを検討していく。

問 生垣の管理のあり方は

答 業者などを含めて検討していく

■ 議員 丸型の石で車輛進入禁止を設置しているが、転がっていく危険性はないか。

■ 町長 内部に四角形の支柱があり、転がることはない。

■ 議員 歩道のタイルが破損している。対策はどうか。

■ 町長 アスファルト舗装へと変更していく。

■ 議員 横断歩道の側の植栽が見通しが悪く危険である。対策はないのか。

■ 町長 安全確保に努めていく。

■ 議員 交通安全対策への取り組みはどうか。

■ 町長 問題がある場所は対応を行っている。

■ 議員 民有地の生垣の管理のあり方を、業者と協定してはどうか。

■ 町長 協力などを含めて検討していく。



生垣がきれいに管理されている民有地

問 猪の市街地への出沒対策は

答 広報紙などでお知らせをしていく

■ 議員 猪が市街地まで出没している。その対策や住民自身の対策も必要であると思うがどうか。

■ 町長 関係機関と連携しながら取り組んでいく。また、住民への呼び掛けとして、広報などで知らせしていく。



にしだ たけし 議員

町の公園管理の考え方は

回答 安全 安心な公園づくりに努める



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



誰にでもやさしい公園の整備・充実を

■ 議員 公園整備に関し地元との協働はどのようになっているか。

■ 土木管理課長 町民一斉清掃は、町から正式に依頼をしているが、老人会・自治会・コミュニティなどが独自で実施している場合もある。

■ 議員 公園の利用状況について把握しているか。

■ 町長 有料施設以外については把握していないが、公園利用者の絶対数は減ってきているものと認識している。

■ 議員 子育て支援は充実しているが、その一方で幼児が野外で伸び伸びと遊べる公

園が少ないという意見があるがどう思うか。

■ 建設産業部長 現在ある公園を整備し、有効利用できるように検討する。

■ 議員 多目的広場（芝生広場）は、一般の利用は問題ないか。

■ 生涯学習課長 申請した団体が利用しているとき以外は、自由に利用可能である。

■ 議員 遊具の補修・撤去の状況はどうなっているか。

■ 土木管理課長 平成28年度調査分については完了した。今後は維持管理に努める。

■ 議員 高齢者の多い地区と新しい団地で高齢者が少ない地区とでは、公園の在り方が異なってもいいと思うかどうか。

■ 課長 今のところ区分けすることは考えていない。現状の遊具を維持管理する。

問 歩道の管理状況は

答 緊急性が高い箇所を優先的に補修



安全・安心な歩道の整備を

■ 議員 歩道の整備計画はどのように行っているか。

■ 町長 平成17年4月に示された「歩道の一般的構造に関する基準」適用後の新しい道路については対応しているが、古くからある既設の歩道については、整備が困難なため、安全で安心に通れるよう維持管理していく。

■ 議員 通学路交通安全プログラムにある通学路要対策一覧表で計画・実行まで記載されているが評価が記載されていないのはなぜか。

■ 土木管理課長 元年度末に評価結果を開示予定である。

■ 議員 高齢者や身体障害者など弱者に対する歩道の安全施策はどうか。

■ 町長 交通弱者にはセミフラット構造が基本となるが、新しく歩道を整備することは難しいため、今ある歩道のできる箇所から順次整備を行っていく。

■ 議員 電動車いす利用者への対応はどのように行っているか。

■ 町長 車いすが円滑に通れる有効幅員を確保できる箇所は、新しい道路や主要な道路以外は少ない。弱者に対する対応と同様の整備に努める。

※セミフラット構造

歩道の段差・勾配をなくす構造のことで、高齢者や障害のある人の通行性に配慮するだけでなく、自転車やベビーカー等も快適に通行できる。



にしおか かつゆき
西岡 克之 議員

虐待対策は大丈夫か

回答 さまざまな支援を行っている



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■ 議員 報道によると全国的にここ数年間虐待が増加している。警察庁の2019年犯罪情勢統計によると、刑法犯は5年連続で戦後最少を更新したが、虐待は過去最多を更新している。本町において現状はどうか。

■ 町長 児童虐待に関する相談件数は平成29年度18件、30年度81件、前年度比4・5倍と増加している。相談件数が増加したのは、子どもに関する相談窓口の周知を図ってきたことや、子育て支援機関とネットワークを構築し、予防や早期発見に関し研修会などの開催を行ってきたためである。さらに、児童虐待への関心が高まってきたことなどが要因と捉えている。

■ 議員 児童虐待の原因と対策をどう考えるか。

■ 町長 背景として保護者の育児経験の少なさ、近隣に協力者がいない、経済困窮、夫婦不和、保護者の成育歴、発達課題による育てにくさなどが主な原因と考える。対策

については、相談事業や訪問事業、友達づくりや、預かり事業、経済事業、情報提供などさまざまな支援を行っている。

■ 議員 高齢化社会の到来で高齢者の虐待はどうか。

■ 町長 高齢者虐待に関しては平成29年度1件、30年度4件の対応をしている。対策として、施設従事者には町主催研修の実施、窓口での助言・相談を行い未然防止に努めている。

問 不登校増加は
どう対応か

答 個別に対応する

■ 議員 近年、小中学生の不登校が増加している。現状と改善はどうするのか。

■ 教育長 2年1月に7日以上欠席した児童生徒は町内小学校で14人、中学校では34人である。決定的な改善策はないので、個別に一人ずつ対応している。さらに保護者と教育委員会です前に相談し、



早く洋式にしてね

放課後デイサービスやフリースクールなどに通所する場合も出席扱いとするよう準備しており、引きこもり防止、さらには学校への登校ができるように努めている。

■ 議員 町内施設の洋式トイレへの改修について、今後の計画はどうか。

■ 教育長 各施設に多目的

トイレを備えているので利用してほしい。古い施設によっては更新できていないトイレもあるが、勤労青少年ホームと長与公民館は2年度1基ずつ改修する。和式トイレにも転倒防止用手すり設置など整備を計画している。今後も利用しやすい施設になるように努める。



まつばやし
松林 議員

スパイラルスライダーの安全性は

回答 遊具に関する安全基準に則する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



安全性は保証されるのか

■ 議員 スパイラルスライダー建設時の安全性の確認は誰が行ったのか。

■ 町長 当時は遊具に関する明確な安全基準はなかったが、設計・施工業者と町職員による試し滑りによる確認が行われた。

■ 議員 再開に向けての改修工事の安全性は、誰によってどのような基準で保証されるのか。

■ 町長 遊具に関する安全基準に則して行うことにな

る。2年度に予定している詳細設計の中で検討していく。

■ 議員 一般社団法人日本公園施設業協会が定めている「遊具の安全性に関する規準」では、すべり台の傾斜は45度以内や、遊具周りの安全領域の確保などが示されている。現状でも一つ一つの基準は満たしており、大規模な改修が行われなまま利用を再開することを危惧している。スパイラルスライダーが遊具として認められるか、設計の段階から日本

公園施設業協会の意見を聞き、安全性を認めてもらう必要があると思うがどうか。

■ 土木管理課長 今後の詳細設計の中で検討していく。

長与町に大型遊具を

■ 議員 町の公園には大型遊具がないので、未就学児や小学校低学年の子どもを持つ保護者は近隣自治体の公園に出かけているようだ。子育て環境の充実を図るために、スパイラルスライダーの改修よ

りも中尾城公園に大型遊具を整備してはどうか。

■ 課長 スペース的に難しいが、研究を進めていく。

問 消防団員のなり手不足の対策は

■ 答 団員が活動しやすい環境を整える

■ 議員 消防団員のなり手を探するのが困難であると感じている。仕事を持ちながら消防団員として活動できるように配慮について、どのように取り組んでいるか。

■ 町長 関係事業所へ、団員の各種訓練等への出勤要請に対する配慮の依頼や消防団協力事業所への加入促進を図るなど、消防団員が活動しやすい環境整備や、消防団員への配慮を要請している。

■ 議員 一般的な会社社員でも活動しやすいよう平日昼間の集まりを減らせないか。

■ 地域安全課長 分団長会議やラッパ隊の集会は、午後7時以降に行うようにしている。



広域連携で独自性を失うな



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 独自性は決して失わない

■ **議員** 本町は、長崎市、時津町との間で広域連携中枢都市圏を締結しているが、どのような連携と効果があっているのか。

■ **町長** 主なものとしてファミリースポーツセンターの相互利用、移住・就職相談会の合同開催、婚活支援、緊急避難場所の公開などを実施しており、サービスが充実してきている。

■ **議員** 以前、連携中枢都市圏の関係で、本町図書館の縮小化もあり得るともとれる発言があった。本町の独自性が失われているのではないか。

■ **企画財政部長** 本町の独自性が失われることは決してない。規模、コンセプトなどは町として検討していく。

■ **議員** 今後、新たに取る組む個別の項目はどのようなものがあるのか。

■ **政策企画課長** 水道事業、子育て関連施設の相互利用などの連携可能性を検討している。

■ **議員** 長崎市や時津町も、定住人口の増加に向け、さらなる子育て支援に力を入れていくと考える。本町も足並みをそろえるか、一歩先んじて取り組む覚悟はあるか。

■ **課長** それぞれの市・町が独自に特徴を活かしながら子育て支援策を検討していくものと考えている。

■ **議員** 水道事業の連携検討とはどのような内容か。

■ **水道局長** 市、町が浄水場の建て替えを予定しているが、共同化により国の支援が可能となり財政的メリットが見込まれる。今後、単独で実施するか、共同化で実施するかを検討していきたい。

■ **議員** 水道法の改正で他自治体では水道事業を民営化する動きがある。町は民営化に慎重姿勢だが、長崎市はさまざまな事業の民間委託を進めているので、水道事業を連携すると民営化の流れになるのではないかと考える。町民の命と健康に直結する水は直営でいく町の方針が揺らぐこ

とはないのか。

■ **局長** 水道施設を共同利用しても、経営権はそれぞれの自治体を持っている。町として民間委託は考えていない。町民の安心・安全を優先する考えである。

問 平木場郷の里道整備協力せよ
滑る場所に手すり

答 階段を整備



滑って危ない、平木場郷の里道・通学路

■ **議員** 平木場郷の山田橋付近から洗切小学校体育館側へ抜ける狭い里道は、長年地域住民から改善要望が出されている。町として改善に協力する考えはないか。

■ **町長** 車両の通行が可能となるような拡幅は難しい。まずは、安全性、利便性を向上させるため、急勾配で滑りやすい箇所を階段や手すりを整備していきたい。



うちむら ひろのり
内村 博法 議員

学校給食費の無料化導入の見解は

回答 財政負担大きいため考えていない



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。



食物アレルギーのある児童・生徒への給食対策として個別に
弁当持参・除去食・代替品などの方法で対応している

■ 議員 学校給食費の無料化は子育て環境の充実及び貧困家庭の救済に寄与するものであり、加えて保護者からの徴収業務が完全になくなるという最善の政策であると考えられる。給食費無料化の導入についてはどのように考えているか。

■ 教育長 小中学校の学校給食費を無料にして公費で負担すると、年間で1億5千万円程度の費用がかかり、新たに大きな財政負担を伴うことになる。したがって、今後も保護者に負担をお願いするよう考えている。

■ 議員 食物アレルギーを有する児童生徒の実態はどうか。またこれまで事故は発生していないのか。

■ 教育長 小学生で139人、中学生で65人である。原因となる食物や症状はさまざまである。本年度の発生は1件となっており、当日のうちにアレルギー反応の改善が見られ回復した。

■ 議員 食物アレルギーに関して、どのような給食の対策を講じているのか。

■ 教育長 アレルギー疾患のある児童生徒の対応は医師の診断を基礎とするため、保

護者などから学校生活管理指導表の提出を求めている。また、給食提供における事故防止の徹底のため、アレルギー疾患対応を踏まえた献立作成の配慮や給食の各段階におけるチェック機能を強化し、改善する取組を行っている。

■ 議員 給食運営に支障を来さないように、給食調理員の処遇面の改善に努める必要があると考えるが、人材確保はどのように考えているか。

■ 教育長 給食調理員は管理会社に委託をしているが、退職や休暇を取得した場合、代替の調理員を配置しなければならぬ。食の安全を第一に考え、不足が生じないように募集をしているが、応募が少ない状況が続いている。今年度は空調設備を設置し職場環境の改善を図っているが、良い人材を確保するため令和2年度から初任給を引き上げ定期昇給の幅を広げるなど、給与面の改善に努めていく。

問

高田南区画整理
県委託の経緯は

答

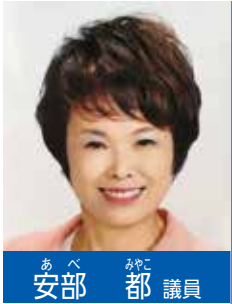
長崎市含め一体的
整備を県へ要望

■ 議員

自治体間の契約として、高田南土地区画整理事業における本町と長崎県との契約は昭和61年、地方自治法に基づき「事務の委託」で締結しているが、どのような経緯でこの契約を選択されたのか。

■ 都市計画課長 高田南地区は長崎市と隣接しており、

周辺の市街地状況から一体的な整備を図ることが効果的で望ましいため、長崎市の一部を含めた区域を土地区画整理として長崎県施行で本町から県へ要望した経緯がある。



急げ 空家等対策計画策定を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 来年度中には策定したい

■ 議員 空き家・*特定空家等の認定状況と現在の取組はどうか。

■ 町長 平成29年末に実施した空き家住宅等実態把握調査の結果、空き家の可能性が高い家屋は254棟、特定空家等の可能性が高い家屋は17棟で、その後再調査は行っていません。現在の取組は現地確認を行い、管理不足と判断した場合、空家特措法に基づき、所有者に口頭または文書により適切な管理を依頼している。

■ 議員 空き家となる原因・要因や対策はどうか。

■ 町長 空き家となった主な理由は、居住者の死亡や施設入所、入院が主なものである。対策はインターネットや広報紙による所有者の維持管理意識の啓発、県宅地建物取引業協会の相談窓口を紹介している。

■ 議員 特定空家に認定された場合の所有者のデメリットは何か。

■ 町長 指導や勧告、命令でも改善が認められない場合は除却や修繕、植栽の剪定などの行政代執行が行われる。また、固定資産税などの住宅用地特例の対象から除外される。

■ 議員 住宅用地特例対象から除外されると税はどうなるのか。

■ 税務課長 軽減が外れ、土地の分については税額が上がる。

■ 議員 町空家等対策計画の策定と協議会制定の取組を早急にするべきだと考えるがどうか。

■ 町長 空き家対策における計画策定および協議会の設置や条例については、他市町の先例等を参考に研究・検討していく。

■ 議員 すでに県内21市中、12自治体、約6割が設置済だ。早急に策定すべきではないのか。

■ 土木管理課長 来年度中には、策定したい。

■ 議員 特定空家である可能性が高い状態でもこれまで、指導・命令は行っていないということだが、今後、個人宛に電話や文書などで指導・勧告を行う予定はあるのか。

■ 課長 条例や要綱を策定する際、検討していく。

■ 議員 空き家再生等推進助成金で*ポケットパークを構築し、学童保育や子育て支援、高齢者の居場所づくりに活用したらと考えるがどうか。

■ 課長 本町では、現在のところそのようなものは考えていない。

*特定空屋

- ①倒壊する状態②衛生上有害である恐れのある状態③著しく景観を損なっている状態④放置することが不適切である状態と認められる空き家をいう。

*ポケットパーク

小さい空き地や敷地を有効活用する趣旨で、不特定多数の人々が一時的に自由に利用可能な小広場のこと。





なかもろ みほ 中村 美穂 議員

不妊治療に町独自の補助を

回答 検討している



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■ 議員 特定不妊治療事業の本町の現状はどうか。

■ 町長 町民の助成件数は、平成26年度が44件、27年度57件、28年度45件、29年度46件、30年度53件と50件前後で推移している。

■ 議員 諫早市や時津町など県内でも独自の一部補助をしているが、本町もできないのか。

■ ことも政策課長 検討している。

■ 議員 保育園の待機人数の現状はどうか。

■ 町長 平成29年4月が6人、10月25人、30年4月9人、10月6人、31年4月0人、10月5人である。

■ 議員 今後の対応はどうするのか。

■ ことも政策課長 令和2年度に施設整備を計画している。

■ 議員 保育園の障がい児、医療的ケア児の受け入れ状況はどうか。

■ 町長 障がい児の受け入れ状況は、平成29年4月が4

人、10月5人、30年4月7人、10月11人、31年4月10人、10月14人である。医療的ケア児の受け入れは入所申込みがないが、2年度の申込みに1人いるので、受け入れに向けて準備している。

■ 議員 小学校の障がい児、医療的ケア児の受け入れ状況はどうか。

■ 教育長 知的障害学級17人5学級、肢体不自由学級4人2学級、病弱・身体虚弱学級1人1学級、難聴学級5人3学級、自閉症・情緒障害学級23人5学級である。医療的ケア児の受け入れはない。

■ 議員 特別支援学級が町内の小学校で増えていると感じるがどうか。

■ 教育委員会理事 以前は特別支援学校に通学していたが、制度が変わり^{*}インクルーシブ教育でさまざまな機会に子どもたちを触れさせるため、保護者の意向で通えることになった。

■ 議員 本町の情報発信の中でホームページのリニューアル

アルを予定しているが、トップ画面に動画を流すなどしてはどうか。

■ 秘書広報課長 分かりやすく、見やすくなるようにしたい。

■ 議員 SNSの中でインスタグラムを活用してはどうか。

■ 町長 前向きに検討したい。

■ 議員 住みたい町ながよというパンフレットがあるが、まさに魅力の発信になると思う。作成されたのはいつか。

■ 政策企画課長 最近Uターン向けに作成したもので



町の魅力を発信して移住促進

※インクルーシブ教育
障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に教育を受けること。

ある。

■ 議員 魅力のある町、帰ってきたい町にするためにどう考えているか。

■ 町長 情報発信など一つ一つ職員と共にやりあげていく。



乗合タクシーの今後は

回答 本運行は見送る



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

■ 議員 町内バス路線の状況は住民ニーズに合ったものとなっているのか。

■ 町長 長崎駅から長与駅までのバイパス經由線の新設や既存路線の変更で、北陽台団地とイオンタウンへの乗り入れも実施された。その後も本川内・琴の尾線の西高田經由への変更や時津方面へのアクセスが強化された。バス会社には、新たな市街地形成への対応や通勤通学の利便性向上など、住民ニーズに応じた改善に努力してもらっている。

■ 議員 JR線増便への要望についてはどうか。

■ 町長 平成30年春のダイヤ改正で減便が行われた。町はこれに対し、本町におけるJR利用者は増加傾向にあることや、需要の増加も見込まれることから、住民生活への影響を考え減便は容認できないことを伝え、見直しを要請した。

■ 議員 乗合タクシーの今後はどのように考えているのか。

■ 議員 私はこの事業推進

か。

■ 町長 町内2地区で試験運行をしたが、目標の平均稼働率50%、平均乗客数2人に届かず、本運行は見送る。

問 中尾城公園スライダ―安全担保は

答 安全基準に則して行う

■ 議員 度重なる事故により利用を中止したスライダルスライダ―は、昨年5月の全国紙に「2.8億円の滑り台、町の重荷に」という記事が掲載された。9月には「再開に目処」と報道され、再開に向けた流れが町民に知れ渡った。安全性やこれから掛かる費用について考えると、再開を手放しでは喜べないと感じる。現在の状況と安全性の担保についての考えを伺う。

■ 町長 3年度の改修に向けて準備を進めている。安全性の担保は遊具に関する安全基準に則して行うが、詳細設計の中で検討していく。

■ 議員 利用者数を見ると最初の2力年は2万人を超えたが、あとは減っていた。設置から10年を超えると維持費もかさみ、町の重荷になっている。それをまた造らないといけないのか。

■ 町長 安全性が担保できなければやるべきではない。今は安全性について検討している段階である。

■ 課長 改修での安全性の担保の答えは出ていない。そのため新しい滑り台を設置する協議を進めている。改修と新設の両方検討中である。

■ 議員 説明では改修と言いが、遊具メーカーでない会社が製作した現在の滑り台で、大きな事故があったものを改修でどうにかなるのか。

■ 議員 説明では改修と言いが、遊具メーカーでない会社が製作した現在の滑り台で、大きな事故があったものを改修でどうにかなるのか。

■ 議員 説明では改修と言いが、遊具メーカーでない会社が製作した現在の滑り台で、大きな事故があったものを改修でどうにかなるのか。

■ 議員 説明では改修と言いが、遊具メーカーでない会社が製作した現在の滑り台で、大きな事故があったものを改修でどうにかなるのか。

■ 議員 説明では改修と言いが、遊具メーカーでない会社が製作した現在の滑り台で、大きな事故があったものを改修でどうにかなるのか。



再開に向けて巨額の税金投入か？



かわの 河野 たつじ 龍一 議員

高田南土地区画整理事業の反省は

回答 地権者には多大な迷惑をかけた



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。



総事業費 300 億円を越える大事業

■ 議員 高田南土地区画整理事業の残工事一括発注と

■ 議員 保留地売却業者がおおむね決定し、新たな事業展開となる。工事に伴う事業変更や

■ 議員 保留地減歩は事業費に充当分を地権者から負担してもらっている。保留地の

■ 議員 保留地減歩は事業費に充当分を地権者から負担してもらっている。保留地の

■ 議員 保留地減歩は事業費に充当分を地権者から負担してもらっている。保留地の

■ 議員 売却額分、地権者の減歩を下げて良いのではないかと。

■ 副町長 売却した保留地は、既に約20億円の試算で事業に組み込まれているので、本来なら町が20億円の負担が必要となった。

■ 議員 試算額20億円の保留地を約13億円で売却するならば、逆に減歩を引き上げる必要があるのではないかと。

■ 副町長 本来ならば減歩の変更が必要だが、地権者には当初から約束の減歩なので変更しない。

■ 議員 売却した保留地の造成に、町民の意見は反映できるのか。

■ 町長 町民の意見を反映することを想定した条件になっていない。

■ 議員 財源確保は大丈夫か。

■ 町長 県と連携し、重要課題と位置づけに必要な資金を確保していきたい。

■ 議員 経済状況の悪化、新型コロナウイルスなどの影響で国県補助の確保も不透明

である。危機感をもった対応が必要と思うがどうか。

■ 建設産業部長 財源確保のためにも国県へ強く働きかけていく。

■ 議員 残事業一括発注も保留地売却も苦肉の策と思う。町の多額の財源をつぎ込んだ事も反省すべきではないか。

■ 町長 事業が長期化し地権者には多大な迷惑をかけた。今後の教訓にしていきたい。

問 子どもの国保税を減免できないか

答 町単独では難しい

■ 議員 国民健康保険税は構造的な問題から、所得に対する保険税が過大である。特に子どもが一人増えれば均等割の34400円が自動的に増える。子どもの均等割の減免ができないか。

■ 町長 町単独では難しい。

■ 議員 町のモデルケースでは、生活保護基準額より少

ない金額で生活しなければならぬ状況にある。全国では独自で減免する自治体もある。子育て世代の支援策としてどうすればできるか検討すべきではないか。

■ 健康保険課長 現在法定減免があり、県に統一されたため町単独では難しい。

■ 議員 子ども医療費無料化の中、国民健康保険だけ子どもの分も間接的に医療費を払っている。不公平ではないか。

■ 課長 保険税は法で決まっている。町単独では難しい。

※保留地 区画整理事業で、事業にかかる費用を捻出する等の目的のために、施行区域内の一部の宅地を事業主体が取得し、将来的には事業主体が売却して、その売却代金を事業費用に充てる土地のこと。

※減歩 土地区画整理事業が整備する公共施設のための土地や、事業費に割り当てる保留地を確保するため地権者の所有地を一定の割合で提供してもらうこと。

準備と心構えで命を守る必要性を再確認 議員災害対応訓練

1月10日、全議員が参加し、長崎市消防局8階にある「防災体験ひろば」にて災害対応訓練を実施しました。まず初めに、昭和57年の長崎大水害の際に実際に救助活動に参加された職員の方から、当時の状況についての講話を拝聴しました。本町を含む広範囲での災害の大きさに改めて衝撃を受けました。その後、初期消火訓練、火災で発生する煙から安全に避難する訓練、風速30メートルの暴風も体験しました。万が一、災害に遭遇した際、命を守るためには平時からの準備と心構えが必要であることを再確認しました。

長崎市消防局の「防災体験ひろば」は、自治会など各種団体での研修も可能です。（要予約の場合もあります）



長崎市消防局8階「防災体験ひろば」

モニターからの声

特集、追跡、企画記事を掲載してはどうか。工夫が欲しい。

行政の中身など議会だよりで知ることも多い。特集記事は重要である。

全世帯配布となっているが、自治会に加入していない住民には届かない。議会としても自治会加入を含め考えていくべきではないか。

モニターになったことで議会だよりをじっくりと読む機会になった。

簡潔によくまとまった議会だよりになっている。

議案ごと（予算・補正・条例）にレイアウトを変更してはどうか。

こちらは、たくさんいただいた御意見のほんの一部です。モニターのみなさま、2年間ありがとうございました。

2月21日、議会広報モニター会議を開催しました。3月31日で任期満了となりましたが、2年間、様々な視点、観点からご意見をいただき議会だよりに生かしてきました。

「議会広報モニター」という存在自体が読者の存在を意識づけ、それが分かりやすさ、読みやすさに繋がったと感じています。今後もこの制度を活用し、より読みやすい議会だよりの作成を心掛けていきます。

読者の存在を意識づけ

議会広報モニター



新型コロナウイルス 感染症拡大防止 長与町議会の対応について

令和2年3月定例会において、長与町議会は新型コロナウイルス感染症拡大防止と、傍聴に来られる皆様の健康を守るため、傍聴の自粛をお願いしました。

また、3月23日に議会新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、当面は感染拡大に配慮するべきと判断しました。

3月議会の長与町議会
YouTubeの視聴回数は、
延べ **770回** でした。
(2年3月31日時点)

皆様の傍聴につきましても、当面は自粛を継続していただきたいと考えております。

長与町議会は本会議の様子をYouTubeで公開しておりますので、そちらをご覧ください。

次の定例会は **6月2日(火)** 開会の予定です。

議長交際費

2年1月1日から3月31日までの
総額と件数

寸志・慶祝など	30,000円(4件)
香典・生花スタンド等	14,850円(1件)
激励カンパ	20,000円(1件)
支出合計	64,850円(6件)

議会情報を発信中！コメントをお待ちしております。

いいね！
をよろしく
お願いします。

現在 **426名**
(3月末)

QRコード

<https://www.facebook.com/nagayochogikai>

表紙の写真



ガタンゴトン、ガタンゴトン、春の列車はみんなの夢を乗せて走ります。

春は、別れと出会いの季節。この時期に美しい花を咲かせる桜は多くの人を笑顔にしてくれます。

高田駅周辺は、4月になると桜

が咲き誇り、線路沿いのこの場所も心惹きつけられる美しいところ。空を覆うように咲き誇る桜を見ると、つい立ち止まってしまう。

撮影者

@samidare0314(Instagram)

編集後記

新年度がスタートしました。進学・入学・就職・転職と、新たな出会いが最も盛んな季節であり、一年の中でいちばん、わくわくドキドキする季節。の、はずが、新型コロナウイルスの影響で掻き消えてしまいました。

今後の暮らしや仕事、地域経済がどのように推移していくのか心配はつきません。でも、この暗いトンネルもいつか出口が見えてくるはず、出会いの春はもうそこまで来ています！あと少し！
この春ほど新たなスタートを大切に感じるのは、初めてです。

(西田 健)

議会広報広聴 常任委員会

委員長	金子 恵
副委員長	堀 理志
委員	八木 亮三
	松林 敏
	西田 健
	安部 都
	安藤 克彦
	吉岡 清彦



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。